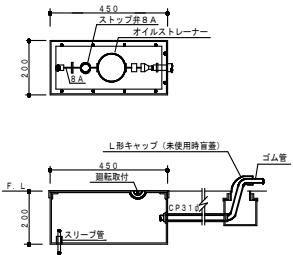


《給油ボックス処理要領》

- ボックス内部品（ストップ弁・ホース・配管類・ストレーナー等）を撤去する。
- ボックス内部清掃（油分を取り除く）
- 重、L型キャップを撤去する。
- 撤去後のモルタル埋めは建築工事とする。

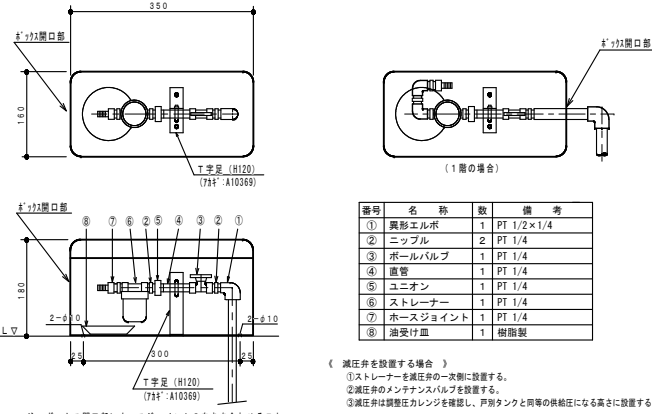


1 異形エルボ 1 PT 1/2×1/4
2 ニップル 2 PT 1/4
3 ホールバルブ 1 PT 1/4
4 直管 1 PT 1/4
5 ユニオン 1 PT 1/4
6 ストレーナー 1 PT 1/4
7 ホースジョイント 1 PT 1/4
8 油受け皿 1 樹脂製

《減圧弁を設置する場合》

- ストレーナーを減圧弁の一次側に設置する。
- 減圧弁のメンテナンスバルブを設置する。
- 減圧弁は調整圧力レンジを確認し、戸別タンクと同等の供給圧になる高さに設置する。

※ボックス開口部にホースジョイントの向きを合わせること。

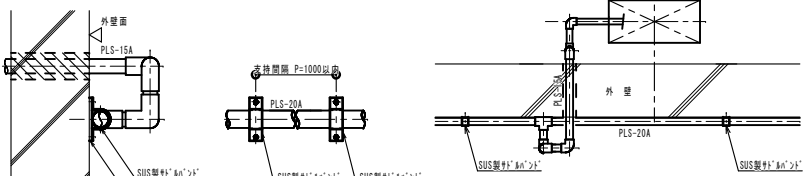


（1層の場合）

《減圧弁を設置する場合》

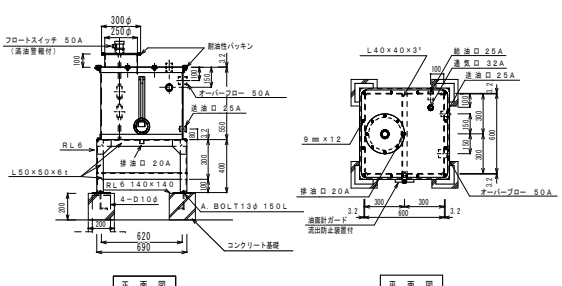
- ストレーナーを減圧弁の一次側に設置する。
- 減圧弁のメンテナンスバルブを設置する。
- 減圧弁は調整圧力レンジを確認し、戸別タンクと同等の供給圧になる高さに設置する。

※ボックス開口部にホースジョイントの向きを合わせること。



※給油ボックスが閉じた状態で使用できるように施工すること。（ホースジョイントの向きに注意）

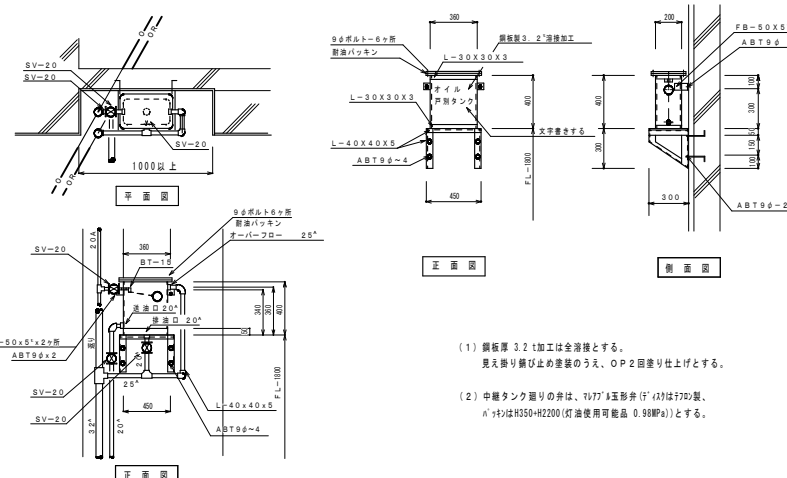
18中継タンク詳細図S=1/20



（1）鋼板厚 3.2t 加工は全溶接とする。
見え振り錆止め塗膜のうえ、OP2回塗り仕上げとする。

（2）中継タンク廻りの弁は、1177*玉形弁（F*は1702製、N*はH350-HZ200（灯油使用可能品 0.98MPa）とする。

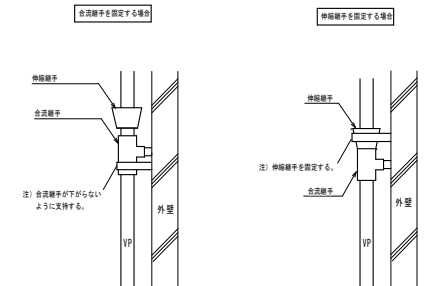
19戸別タンク詳細図S=1/20



（1）鋼板厚 3.2t 加工は全溶接とする。
見え振り錆止め塗膜のうえ、OP2回塗り仕上げとする。

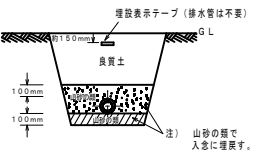
（2）中継タンク廻りの弁は、1177*玉形弁（F*は1702製、N*はH350-HZ200（灯油使用可能品 0.98MPa）とする。

20屋外排水縦管要領



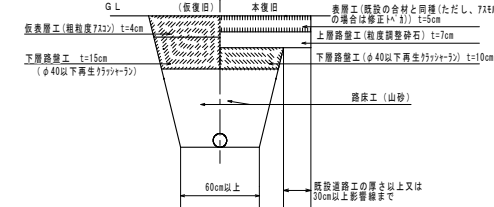
（1）各層に伸縮継手を取り付ける。
（2）伸縮継手を壁に固定する。
（3）伸縮継手は合流直上に取り付ける。

21根切り埋戻し要領



（1）根切り埋戻し要領

22構内舗装復旧要領



（1）構内舗装復旧要領

有限会社 サクライ 設計

新 潟 県 泉 沼 市 小 出 島 1 2 0 9 番 地 1 6 （小 出 東 町）
一級建築士事務所登録（〒952-5501 TEL 025-790-5555 FAX 790-5999）
一級建築士登録 第 2 4 2 2 2 号 管理建築士 浅 井 守 人

設計者等氏名 建築士登録番号等

櫻 井 崇 治 一級建築士登録 第 1 2 5 0 5 号

工事名称 湯之谷会館冷温水発生機等更新工事

図面名称 機械設備改修共通図（2）

番号に○印を付けたものを適用する。

年月日	2022.11	図面番号	5
欄 尺	縦向き 1/150 横向き 1/200	数	電